

越代地区地域づくり懇談会

平成26年11月27日（木）
越代集会センター
午後 4:00～

越代地区では、平成26年11月27日（木）に「越代地区地域づくり懇談会」を開催いたしました。今回は、昨年の継続として「越代のサクラ」の保全のための検討案“ラップブロック工法”について意見交換を致しました。

また、地域の方たちの活動をより良く行えるための支援「地域づくりに関する補助金等」についての説明や紹介などを行いました。

次第

- 1 開会
- 2 あいさつ 企画調査課 玉川善徳 課長
 大久田行政区 平松昭一 区長
- 3 出席者紹介
- 4 懇談
 (1)越代のサクラの保全のための検討案について
 (2)地域づくりに関する補助金等について
- 5 その他
- 6 閉会



【懇談会の様子】

(1) 越代のサクラの保全のための検討案について

補強盛土工（ラップブロック工法）

(3案)



- ・ブロック勾配1:0.5 H=5.5m
- ・法面は1:1.5で芝を張る
- ・現地盤と法面の幅は、ブロック上段で2m
下にいけば広くなり盛土の部分が確保される。
- ・樹木医 鈴木先生によると、盛土幅は2mあれば良いとのこと。
- ・ブロックが高いのでの景観が気になる。

(4案)



- ・ブロック勾配1:0.5 H=4.4m
- ・法面1:1.0～1:1.5で芝を張る。
- ・景観を考慮し、ブロックの高さを3案より1m低い。
- ・ブロックを低くする場合、補強土盛土を1割の勾配にし、ネット状の補強材を設置する必要がある。
- ・盛土の全面は芝で覆う。
- ・サクラの根が伸びていくと補強材が生育の支障をきたす恐れがある。
- ・補強材は桜の根を考えると設置しない方が良い。

(結果) ○補強盛土工（ラップブロック工法）1:0.3の計画を作成し次回提案

- ・景観、さくら保全 ・・・・ブロック勾配1:0.3を採用して高さを低くする。
- ・法面勾配 ・・・・草刈りがしやすいように法面勾配は1:1.5とする。
- ・芝桜 ・・・・ブロック4段に芝桜を植える。

(2) 地域づくりに関する補助金等についての説明



- ・横道未来プロジェクトにおける利用可能な補助メニューについて
- ・都市農村共生・対流総合対策交付金
- ・平成25年度「大学生の力を活用した集落復興支援事業」
- ・公益財団法人 福島県区画整理協会「地域づくり活動支援事業」支援金交付要綱
- ・ふくしま・地域産業6次化復興支援事業の募集について など